



2023年(令和5年)7月15日

第75号

発行



尼崎市東七松町1丁目2-21

TEL (06) 6480-5845

FAX (06) 6480-5846



E-mail / HP



私たちの目指す社会

～障害者権利委員会による対日審査を受けて～

昨年は障害者権利条約を批准する我が国に対し、初の審査が行われました。国連によって特に厳しい意見のついた3つの勧告について触れたいと思います。

まず、教育への勧告ですが、障害のある子どもが通常の学校を利用する機会を確保するよう求められました。「分離教育が分断した社会を生み出す」と指摘されており、通常学校での受け入れ態勢の欠如が強く懸念されています。

少子化による子どもの減少に対し、特別支援教育を受けている子どもの数は右肩上がり。盲やろう・肢体不自由などの支援学校の生徒数は横ばいであるにもかかわらず、知的障害の特別支援学校に通う子どもは増加の一途をたどっています。地域の学校とは別の場所で過ごす子どもが増えており、分離は加速する一方です。

地域の小中学校で特別支援教育を受ける子どもも増えています。知的障害を伴わない発達障害のある子どもなど、多様な「生きづらさ」を抱える子どもたちの増加に伴い、不登校の子どもも急増、教育現場ではその問題の解決が大きな課題となっています。

「すべての子ども」に配慮が必要である学校で、誰もが尊重され一緒に学ぶ。そのためには障害の社会モデルによる理解やICTのさらなる活用を推進し、学校や児童デイサービスなどでのインクルーシブな「子どもの居場所のあり方」を具現化する必要があります。小さな頃から多様な人たちと生活を共にすることが、私たちの目指す共生社会を実現する道だと信じて、教育と福祉の連携による大きな一歩を踏み出さなければなりません。

一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会
会長 鳥居 祐紀

次に、「障害者の施設入所を終わらせる」とする勧告です。

現在、入所中の知的障害児者は約13万人。本人が、どこで誰と生活するかを選べるようにするため、意思決定支援を徹底し、地域生活支援への予算を充足させ、そのための在宅サービスの充実やサービスの仕組みの変更などを国家戦略で行うよう求められています。私たちには、これまでの価値観の転換を突き付けられているようで、不安な一面もありますが、本人が「自分のこれからの人生について意思を表出できる」「周囲がくみ取ることができる状態にする」ことが大切であることに変わりはありません。

そして3つ目は、成年後見制度の在り方についての勧告です。

他者による代理決定ではなく、ここでも「本人の意思決定」が重視されています。成年後見制度はとかく財産管理に重きが置かれがちですが、当事者が尊厳のある自分らしい生活を送るためには身上監護とのバランスが重要です。本人の小さな自己決定の積み重ねを普段から大切にし、自己肯定感を高めさせながら、信頼できる支援者や後見人を見つけることが、親あるうちの私たちにとできることではないでしょうか。

これらの中央の動きに県や各市町も連動していきますので、これまで同様、私たち当事者団体の持つ役割は重要です。会員の皆さんには育成会活動へのさらなるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(令和4年度決算総会より抜粋)



就任のごあいさつ



尼崎市長 松本 眞

昨年11月に執行された尼崎市長選挙において市民の皆様のご信託をいただき、12月2日より尼崎市長に就任しました、松本眞でございます。私は、静岡で生まれ育ち、東京で働き、教育長として尼崎市に奉職をし、そのご縁により、尼崎市長選挙に立候補をし、今、市長としての重責を担っております。これまでの行政経験を活かし、「対話重視」「実行力」「誰一人取り残さない」の3つの基本姿勢を大切にしながら、着実に市政を前へ進めてまいります。

尼崎市は、これまでの「まちを良くしよう」と取り組んでこられた市民や事業者の皆様のご尽力により、まちのイメージも向上し、市の課題解決に向けた取組が具体的な形となって現れてきています。

私の役割は、この尼崎市の「胎動」を確実なものとし、誰もが「住みたいまち」、「住んでよかったまち」と感じ、「人が集まるにぎわいのあるまち」となるよう、全力で尼崎市を「次のステージ」へと進めることだと考えています。

この可能性に満ちた尼崎市をさらに成長させていく上で、5つの基本的なビジョンを策定し、まちづくりを進めています。その中の一つ、一人ひとりの市民に寄り添い、「誰もが暮らしやすいまち」の実現に向けては、障害のある方やその家族が望む地域生活を送ることができるよう、支援体制の充実や連携の強化を図るなど、各施策

を充実させ、社会的なセーフティネットの機能を果たすべく取り組んでいます。

そのような中、幅広い世代の親同士が交流し、皆様のご経験などを共有しながら、互いを思いやり、助け合って「手をつなぐ」という貴会の活動は、誰もがその人らしく、自立して安心して暮らすことができる共生社会を実現するうえで、非常に重要と考えています。

どうか皆様におかれましては、これまでの豊富なご経験やご活動の成果を地域の中で活かし、今後とも、本市のまちづくりにより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の今後ますますのご発展とともに、関係の皆様方のご健勝並びにご多幸を祈念いたします。



尼崎再発見第8弾 「尼崎市立歴史博物館で学ぼう」

2022年11月30日(水)
於：尼崎市立歴史博物館

コロナ禍のため中止していた「尼崎再発見」を3年ぶりに再開しました。

今回訪れた尼崎市立歴史博物館は、昭和13(1938)年に尼崎市立高等女学校として建てられた歴史的建築物で、建設地は、尼崎城の本丸跡に当たります。市立尼崎高等学校、城内中学校、成良中学校の校舎として歩み、学校統合によりその役割を終えた後は、1階部分のみを文化財収蔵庫として活用してきましたが、平成30(2018)年度着工のリニューアル工事により、新たに歴史博物館として生まれ変わりました。2階の常設展示室では、原始・古代から近・現代までの尼崎の歴史が紹介され、3階の企画展示室では、初代尼崎市長で画家でも名高い櫻井忠剛氏の作品が展示されていました。

見学時には歴史博物館の桃谷先生に丁寧に説明していただき、また、初代尼崎市長の櫻井忠剛氏と勝海舟とのご縁のお話や貴重な作品を見学し、まさに「尼崎再発見」の一日でした！



<尼崎再発見を振り返って>

住み慣れた尼崎のことを「もっと知ろう!」ということで平成24年から尼崎市にある企業や施設に出かけ、誇れる尼崎の魅力を発見し発信することにしました。令和元年までに訪れた施設や学びを紹介します。

第1弾 「雷テクノロジーセンター」見学 平成24年11月15日

国内唯一の雷対策専門メーカーとして知られている音羽電機工業(株)では、実際に雷対策製品や雷の発生の仕組み等が学べ、雷を疑似体験し避雷技術により私たちの生活が守られていることを実感しました。

第2弾 「エーデルワイスミュージアム」見学 平成26年2月21日

菓子メーカーエーデルワイスが創業当時から収集してきた数々の洋菓子の文化的資料や製パン器具、製菓道具、美術品を見ることができました。

第3弾 「尼崎の歴史と養蜂の取組み」講演会 平成26年10月1日
講師：尼崎鉄工団地協同組合理事長西村善明氏

尼崎鉄工団地のすきまに緑を植える「すきま緑化」を活用し養蜂し、鉄工団地でとれたはちみつ「尼みつ」が誕生するまでの秘話をお聞きました。

第4弾 「尼ロック」見学 平成27年10月29日

開門「尼ロック」を見学し、市域の1/3を占める「ゼロメートル地帯」の尼崎を高潮、津波、洪水などから24時間体制で守っていることを知りました。

第5弾 「ユニチカ記念館・尼崎市立文化財収蔵庫」見学 平成28年11月9日

ユニチカ記念館では尼崎が工業都市として出発した礎を知ることができ、文化財収蔵庫では市内で発掘された縄文時代からの土器や道具が展示され尼崎市の歴史を知ることができました。

第6弾 「寺町・尼信会館」見学 平成30年10月25日

ボランティアガイドさんから町の歴史やそれぞれのお寺の説明に熱心に耳を傾けました。尼信会館では、尼崎の歴史に関する貴重な資料が多数展示されており特に世界各地の貯金箱は圧巻でした。

第7弾 「尼崎城」見学 令和元年10月23日

3月に再建されたばかりのピカピカの尼崎城を見学しました。迫力満点のVRシアターもとても見応えがあり、「なりきり体験ゾーン」ではお姫様や武士に変身し盛り上がりました。

<第1弾>



<第2弾>



<第3弾>



<第4弾>



<第5弾>



<第6弾>



<第7弾>



親亡き後相談

2022年11月25日(金)

於：尼崎市立中央北生涯学習プラザ

県育成会の事業「親亡き後相談」を尼崎で開催しました。まず初めに「財産管理について」をテーマに弁護士 福島健太氏より約40分ご講演頂きました。

【講演内容】

＊なぜ第三者による財産管理が必要？

本人自ら支払いができない、計画的に金銭管理ができない、また高額資産がある場合や浪費や詐欺などの被害にあう可能性がある等の理由がある場合は第三者による財産管理が必要となり、日々の生活に必要な費用の支払いや資産を維持し生活を護ってもらうのが目的。

・財産管理の方法

①成年後見制度 ②日常生活自立支援事業 ③財産管理契約(ホームロイヤー) ④信託 等

＊キャッシュフロー(現在を基準に平均寿命までの一年ごとに予想される収入と支出の一覧表)を作成

メリット↓

- ・どの時点でどのくらい資産があるかわかる
- ・資産を維持するには、第三者に管理を依頼することや資産がなければ貯める方法を考える

など短い時間でしたが、将来の生活を想定しお金の残し方を考える機会になりました。

その後、事前に予定していた4人の方の個別相談をしていただきました。



個別相談を受けた方からの声

成年後見制度の講座に出席していましたが、まだ先のことと思っていました。この相談会直前に主人が亡くなり将来への不安でいっぱいになり、以前先輩お母さんの言われていた「自分が元気な時にしておくべき」という言葉が思い出されました。少しでも子どもに残すには専任の弁護士さんをお願いしての書類作成が必要という事を知りました。福島弁護士さんからの的確なアドバイスをいただき感謝しています。



Aさん

今までにも数回ですが後見人制度のお話や親が亡き後の話を聞く事がありましたが今回の福島先生のお話は、分かりやすく知りたかった事が短い時間にまとまっていて参加出来て良かったと思っております。ありがとうございました。



Bさん

子供の成年後見についての相談のみでなく、実家の悩みについても温かく話を聞いて頂きました。兄の生前整理にアドバイスをいただいて、とても助かりました。今回の経験を親なき後の準備に生かしていけたらと思います。



Cさん

成年後見をしようとするすると細かな疑問や不信感、煩わしさもあり進んでいませんでした。今回のお話はとても分かりやすく、信託やホームロイヤーの事も大変勉強になり、やるべきことの背中を押してもらった感じでした。



Dさん



Aプロ委員会活動報告

詳しい報告は「土と芽
だより」142号P5～
6をご覧ください。



AプロⅠ

*子育てカフェ

- ・11/29(火)「元校長先生との座談会」
- ・3/13(月)「小学校・小学部の子の母の情報交換会」

<R5年度予定>

- ・子育てカフェを継続
- ・中学・高校の進路について
- ・高校卒業後の進路やお金の話。
- ・放課後等デイサービスのプレゼンテーションや座談会を定期的を開催する。

AプロⅡ

★委員会…R4.5/18、7/20、R5.2/1

1. 個別避難計画について
2. まんまるはうすを避難所利用することについて
3. 備蓄品の購入について

<R5年度予定>

- ・大阪の「ゆめ風基金」による「避難所運営シミュレーション」を行う。
- ・マンホールトイレについて出前講座

AプロⅢ

★委員会…R4.6/3、7/19、9/12、11/10、R5.3/23

★ワーキング委員会…5/30、6/10、7/14、12/12

1. 投票時の合理的配慮など第1回地区懇談会で発表について確認
2. 入浴支援可能事業所一覧作成 → 「土と芽だより」139号に掲載
3. GH訪問時の確認リストの検討

★見学→12月16日高齢化対応の西宮市の社会福祉法人一羊会「すずかけ作業所」

<R5年度予定>

- ・会員利用のGHを訪問
- ・福成会との話し合い
- ・支援度の低い利用者のGH見学



ユニバーサルツーリズムが始まります!

今年3月、兵庫県では年齢や障害の有無に関わらずすべての人が気兼ねなく楽しめる旅行「ユニバーサルツーリズム」(UT)を推進する条例が全国で初めて可決、成立しました。

兵庫県が昨年とったアンケートによると知的障害の回答者の約60%が旅行を諦めたことがあり、諦めている理由としては、初めての場所には落ち着かなくなる、パニックになることがある、周りの目が気になる、入浴やトイレが困る、など理由は多岐にわたります。

このような不安を少しでも解消するため、UTで新設する登録制度では、チェックリストで一定の基準を満たせば、県独自のロゴマークが使える「登録施設」と認定されます。そして県の公式観光サイト「HYOGOナビ」で「ひょうごユニバーサルなお宿」として紹介さ、障害種別ごとの対応状況も案内するなど利用者目線で情報発信する事となります。

また、相談窓口も県内数か所に設置され、旅行先の設備や対応なども相談できるようです。今後、どの人にとってもやさしいお宿が増え、安心して出かけることができ、ゆっくり楽しめるような旅ができるようになるのではと期待しています。



学齢期

あつまれ！みんなの音楽会



春休みを過ごしている幼児期・学齢期のお子さん向けに「JAF交通安全ドレミぐるーぷ」を招いてコンサートを開きました。みんながよく知ってるおなじみの曲がたくさん出てきました！体を動かすダンスのコーナーや楽器紹介のコーナーもあり、歌って踊れる楽しい時間を過ごしました。

また、交通安全のクイズでは、自転車で道路を走るときは左側を通ることや、止まれの標識について、青信号の点滅は基本渡らないことなど、事故にあわないためのルールもたくさん教えてもらいました。

放課後等デイサービスのお出かけ先として、事業所の方にもお声がけをし、親子連れはもちろん、たくさんのお友達がイベントに参加してくれました。

コンサート終了後には杭瀬福成園オリジナルクッキーのお土産ももらって、「もっと聞きたい！」「また次回もあればぜひ呼んでくださいね！」と大好評でした。



うたっておどって・元気いっぱい！
コンサートと交通安全のクイズにも挑戦！
みんなではやすみを楽しもう！
※クッキーのおみやげがあるよ♪

はやすみ
あつまれ！みんなの
おんがくかい
音楽会

2023年3月29日(水)
11:00開演(10:30開場)

尼崎市中央北生涯学習プラザ3階 小ホール
〒660-0892 尼崎市東難波町2-14-1

尼崎市手をつなぐ育成会
曲目：「新時代」「エビカニクス」「タイミング」
「ラーメン体操」「夢をかなえてドラえもん」など
演奏：JAF交通安全ドレミグループ

【プログラム】
「夢をかなえてドラえもん」
劇場版ワンピースの主題歌「新時代」
「エビカニクス」「秘伝ラーメン体操」
「ありがとうの花」「タイミング」など

まんまるはーと活動報告

*全育連啓発キャラバン隊研修 10/12

全国のキャラバン隊の皆さんとオンラインでつながり、今回は広島あび隊の実演を見せていただいた。グループディスカッションでは少人数で会話でき、他地域の啓発キャラバン隊の様子を知ることができました。

*まんまるはーと(疑似体験ワークショップ)

- 7/27 長洲小学校
- 8/7 みんなのサマーセミナー
- 8/31、2/3 兵庫県警察学校
- 12/7 人権啓発オピニオンリーダー研修会
- 1/27 富田林市障がい者自立支援協議会
- 3/28 未就学児の親と支援者

まんまるはーとで
つながりたい！

こんにちは！私たちは「尼崎市手をつなぐ育成会」の「まんまるはーと」という啓発キャラバン隊です。知的障害を持つ人の家族の会で活動しています。知的障害は外からはわかりにくく、行動も誤解されやすい障害です。そこで「知的・発達障害疑似体験」というワークショップを通して、知的障害や発達障害の人の特性や気持ちを感じていただき、共に生きる仲間として理解を深めていただけたら、と考えています。ワークショップは1時間程度で楽しい内容です。わかりやすく簡単なものなので、どなたにも参加いただけます。ぜひ、学習会などにお声掛けください！

～ワークを体験された方から～

「私にも自分には当たり前でできていることでも、人によってはできない、むしろ自分にはまだまだ進んでくれている、のだという視点に気づかされました。今後後輩の人の指導も、自立支援もできそうです。」(朝法書士Aさん)

「ワークショップによる体験がとても具体的に、他人の考え方や気持ちがよくわかり、記憶に残りやすかったです。」(新築採用市職員)

「地域の学校の支援員に子どもを通じたいが、うまく馴染める心配。PTAの役員者や子どもたちとのようなワークが広まればうれしに思っています。」(幼稚園PTA保護者)

一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会とは…
尼崎市の知的障害者子ども支援センターで昭和34年に発足しました。当時は、障害に対する理解も乏しく偏見もあり、また奨学金や「発達」という障害があることに関する事も十分ではありませんでした。そんな中、同じ障害の子をもつ母親17名でスタートし、今では会員は市内で400名ほどになり知的障害への理解のための啓発や研修を行っています。また育成会は全国的な組織で、47都道府県9政令都市にほとんど設置され全国手をつなぐ育成会連合会として活動しています。

ワークショップのご依頼・お問い合わせ

尼崎市手をつなぐ育成会 〒660-0051 尼崎市東七郎町1-2-21
TEL 06-6480-5845 FAX 06-6480-5846

*E-mail: kusunuma123@gmail.com *ホームページ *Facebook

チラシをリニューアルしました！
PRよろしくお祈いします。

退任のご挨拶

***田中 文子(中央・大庄地区)**
 この度理事を経験し、皆様の声を元に実情や問題を聞き改善への働きかけ等々、とても大切な会だと身に沁みました。私事都合で退任する事になりましたが、これからも皆様と歩んで行けたらと思います。2年間ありがとうございました。

***儀間 裕実(塚口福成園)**
 初めての事ばかりであったという間の5年でした。色々とお世話になり、ありがとうございました。これからも育成会活動に参加・協力して、子供達が安全で安心して生活できるようになる事を願っています。

***梶本 智子(あこや学園)**
 1年間理事の仕事をして頂き、ありがとうございました。コロナで規制されていた行事が出来るようになり皆さんと手探りしながら進めていくのは大変でしたがあこや学園だけでは身につけられない知識を得られたことは大きな財産になりました。

***新本清美(監事)**
 計算の苦手な私が数字を追うのは大変でした。ただ昔の育成会の様子やエピソードなど今について下さった歩みを知る事ができ前向きに楽しく活動させて頂きました。これまで支えてくださった方々ありがとうございました。

***矢野 礼子(立花・武庫地区)**
 この度2年間の任期を終え、理事を辞任致します。分からない事だらけの地区理事でしたが、本部役員さんをはじめ周りの先輩方に助けられながらの2年間でした。子供達の未来の為、これからも協力出来る事はしてまいりたいと思います。ありがとうございました。

***川端 朋美(あいあい)**
 4年間あいあいの理事として皆様には大変お世話になりました。皆様からの温かい助言や励ましのお言葉を受けまして、本日を迎えることが出来ました。本当にありがとうございました。

***村中 安子(杭瀬福成園)**
 4年間の任期を終え退任させて頂きます。デルタ株による集団感染の折には迅速に食料物資を支援下さり感謝申し上げます。不安な日々を過ごす中で、育成会活動を止めることなく手探りで少しずつ進めていく中に身を置きました事は貴重な経験だったと振り返ります。本当にありがとうございました。

令和4年度 要望書

1. 地域で安心して暮らせる尼崎に

- 積極的な高齢化対策を
 - ・共生型サービスの推進
 - ・グループホーム以外の日中活動の場での入浴支援の推進
- 福祉支援員の人材育成
- 日中一時支援事業所の充実(成年期)
- 現在18歳までは放課後等デイサービス利用のみになっているが、高等部在学中から将来を見据えて移動支援サービスへの移行に柔軟な対応を
- 移動支援先の地域拠点づくり
- 緊急時のショートステイ受け入れ態勢の確立
- 災害時・感染症対策における知的障害児・者への適切な対応
 - ・避難先の充実(ホテル等の活用や、避難所での合理的配慮への対応と理解)
 - ・自宅避難における支援の受け方の周知
 - ・災害時要援護者個別支援計画の作成
- かかりつけ医機能が発揮される制度の整備

令和4年度尼崎市へ要望書を提出しました



1. 共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進
 - ・小学校入学時には、すべての子どもを地域の学校で受け入れ可能に
 - ・学校関係者および児童に向け、知的・発達障害の疑似体験等による障害理解の促進を
 - ・学校現場での人材確保(介助員・ボランティア等)
1. ICTを活用した自立活動等で、教育効果が高まるような方策を
 - ・コミュニケーションツールや本人のスキルアップにつながるよう、タブレット端末を積極的に活用
 - ・学校による格差をなくすため、好事例の共有を
1. 兵庫県立阪神特別支援学校を市内に移転
1. 移動支援先での地域拠点作り



～新役員紹介～

【本部】



【地区・施設】



【監事】



山畑 吉岡

【書記】



横山 新里

津 大 竹 杉 加 右
 坂 田 浦 藤 より
 井 井 鳥 岩 井
 上 上 居 永 上
 (恵) (三) (由)

宮 山 上 堀 和 右
 城 本 野 山 田 より
 相 今 沢 阿
 木 津 田 部

令和4年度賛助会員

今年度も賛助会員を募ったところたくさんの方からご賛同を頂きました。ありがとうございました。今後ともどうかよろしくお願ひいたします。

相木 力子	魚住 工	川口よしみ	新本 清美	戸田 稔	前川 浩二	森 勝
合田 悦二	大須賀昌治	川口 直子	杉浦 裕子	鳥居 祐紀	前田 桂子	森山 繁
嵐 俊明	大谷 吉之	川畑 勇	杉永 康広	西村 清美	前田 香織	山川 敏彦
有本 元一	太田多津子	川畑 光則	杉本美智子	西岡 幸雄	前田 寛	山崎富美子
伊東 繁夫	岡本 彰	喜多 陽子	瀬田 幸子	西山 豊子	前田 慶子	山根 重則
石田 憲治	小野江淑子	儀間 裕実	征矢美香子	祢宜 隆重	前 晴美	山畑 佳子
出 竹男	梶 篤	久保 輝昌	田口 一吉	野田 秋子	三田尻 宏	山元 拓馬
伊藤そと美	柏原 敏昭	佐々木正紀	竹山 正人	橋本 裕子	宮北 二郎	山本 博
井上 昭子	梶本 智子	沢田みちよ	田中 栄治	原田真由美	宮城美津子	山本 千里
井上 恵子	勝 忠徳	嶋内 良則	田中 宣江	樋口 雄次	宮下 哲	吉岡かほる
井上三枝子	勝 野 徹	島 祐貴	田中 文子	福井美智恵	村中 安子	吉野 俊枝
井上 義夫	加藤 智子	霜竹 利嗣	田場 千里	福島 清美	元吉 敏夫	和田 周治
岩川きよみ	加藤 泰子	白石 幸代	近友 和美	福満 久晃	森 康祐	山中 純子
岩永ゆかり	嶋谷富美子	新城 二美	塚尾 雅昭	藤村 秀雄	森 實 道仁	
放課後サービス桜の木	NPO法人サニーサイド	NPO法人ピースヘルプ協会				(敬称略・順不同)

★★編集後記★★

新しい年度がはじまり、マスク着用も自由化されいよいよ町中の人々の流れも多くなって参りました。コロナ禍を経てリアルイベントへの意識、生活様式、ニーズの変化に伴う制度の変更など様々な変化に自分自身も慣れながら、活発に活動して行きたいと思っています。
 最後になりましたが、お忙しい中原稿をお寄せくださいました皆様ありがとうございました。

